



Press release

2017年12月1日

アクサ生命、山陰合同銀行を通じて『ユニット・リンク保険(有期型)』の提供を開始

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ニック・レーン)は、山陰合同銀行(本店:島根県松江市)を通じて、『アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク』(正式名称:ユニット・リンク保険(有期型))の提供を開始します。これにより、アクサ生命の同商品を取り扱う金融機関は、合計で28社となります。

今回、提供を開始する『アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク』は、働き盛り世代の長期資産形成ニーズにお応えするために2009年1月に販売開始した平準払い型変額保険商品です。2015年の商品改定では、死亡保障と資産形成へのお客さまのニーズにより幅広くお応えすることを目的に、従来の6種類の特別勘定に加えて、新たに2種類の特別勘定を追加することによって、お客さまの選択肢を拡大しました。

アクサ生命は、本商品の提供により、「死亡保障と資産形成を再定義」する取り組みを強化し、死亡保障や資産形成の分野における幅広いお客さまのニーズにお応えし、最適なソリューションをご提供することによって、お客さまの安心でより良い人生の実現をサポートしてまいります。

販売開始日	金融機関名	商品名・概要
12月4日	山陰合同銀行	<p>ユニット・リンク保険 (有期型)</p> <p></p> <p>【特長1】 保障の安心 保険期間満了までの死亡・高度障害に備えることができます。</p> <p>【特長2】 資産づくりの楽しみ 保険期間満了時に、運用実績に応じた満期保険金を受け取れます。</p> <p>【特長3】 将来の選択 満期保険金を年金で受け取ることや、ご契約を一生涯の保障に変更できます。</p>

※商品についての詳細はパンフレットや当社HP等をご確認ください。

アクサ生命について

アクサ生命はAXAのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。AXAが世界で培ってきた知識と経験を活かし、237万の個人、2,200の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2016年度には、2,522億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXAグループについて

AXAは世界64ヶ国で16万5,000人の従業員を擁し、1億700万のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2016年度通期の売上は1,002億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は57億ユーロ、2016年12月31日時点における運用資産総額は1兆4,290億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなど、国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

電話:03-6737-7140

FAX:03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>